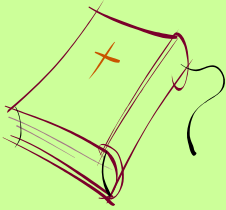


MB 伝道ニュース <特別号>



開拓伝道のビジョンを語る【VI】



畑 直樹師：青年委員会

教会の“伝道”と聞いて皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。おそらくコンサートや講演会や特別伝道集会といったイベントものによる伝道(以下イベント型伝道)を思い浮かべる方が多いのではないかと想像します。そして、“教会の伝道=イベント型伝道”という図式は、おそらく日本全国の多くの教会に当てはまるものであろうとも想像します。この場合、イベント型伝道の目的はいくつかあるでしょう。とにかく人々に足を運んでもらうことや、人々に福音を伝える(聞かせる)ことや、回心者を獲得することです。果たして、イベント型伝道によって毎年順調に回心者を獲得している教会がわが国においてどれほどあるのでしょうか。

筆者はイベント型伝道を否定はしませんが、疑問を感じているのは事実です。なぜか。それは「イベントに人は来るが、続けて教会(礼拝)に来る人がいない」という声をいろんな機会にしばしば耳にするからです。そのような声からは、毎年イベントを催しても状況は一向に変わらず、同じことが繰り返されているという教会の実情が透けて見えるようです。毎年同じことを口にしながらもイベント型伝道続ける…筆者はそこに疑問を感じざるを得ないのです。

イベント型伝道が伝道の中心になってしまうと、その教会では「イベントにお金をかけなければこの教会は伝道に熱心ではない」とか、「イベントを行わなければこの教会は伝道をしない教会だ」という風潮が生まれてくるのではないのでしょうか。そしてその風潮があるがゆえに、イベントを止めるという選択肢が選ばれることはなく、とにかくイベント型伝道続けましょう、ということになるのではないのでしょうか。そうすると、「イベントに人は来るが、続けて教会(礼拝)に来る人がいない」というあの声がまた聞かれることになるのです。

この声のことを考えてみましょう。イベント型伝道の目的が「人々に足を運んでもらうこと」あるいは「人々に福音を伝える(聞かせる)こと」ならば、人々がイベントにやって来ることで目的は果たされるわけですから、何ら問題はないはずです。ところが「回心者を獲得すること」が目的である場合は違うのです。イベントに来た人が教会につながり、その後も継続して来会するということがないと、「回心者を獲得する」という目的は果たされないこととなります。すなわちそれはイベント型伝道の失敗を意味するのです。そしてその教会は失敗を嘆くのでしょうか。それならば、割り切って「人々に教会へ足を運んでもらう」という目的に徹するということがあっても良いと思うのです。

イベント型伝道について、その目的をはじめしっかりと話し合われることなく、「これまでやってきたことだから」「毎年やっていることだから」という理由だけで漫然となされていないのでしょうか。一度立ち止まって、改めてイベント型伝道のことを考えてみることも必要ではないのでしょうか。

「個人伝道トレーニング講座参加者募集」のお知らせ

日時：2016年9月24日(土)～25日(日)

場所：MB尼崎キリスト教会

費用：500円（土曜日昼食代：申込者の方のみ） 席上献金あり

主催：MB伝道委員会

協力：キャンパス・クルセード・フォー・クライスト(CCC)大阪SI

「友だちに福音を伝えたい！」「家族に伝道したい！」「職場で証しをしたい！」

でも、どうやって伝道したらいいのかわからない。

そんなあなたに、CCCが行っている「Leadership Training Class(LTC)」の内容を紹介していただきます。講義だけでなく、実地の場で、伝道にトライする機会も設けています。

どなたでも是非ご参加ください。



スケジュール



9月24日(土)

9月25日(日)

10:00-10:45 神の愛と赦しを体験するには

15:00-15:45 御霊に満たされるには

11:00-11:45 KGP の使い方 1

16:00-16:45 大宣教命令を成就するには

12:00-13:00 昼食

16:45-17:10 まとめ

13:00-13:45 KGP の使い方 2

*KGP(Knowing God Personally) とは

14:00-14:30 アウトリーチ準備

「四つの法則」です。

14:30-16:00 アウトリーチ

16:00-16:45 感謝の証し…まとめ

2016 年度伝道委員会メンバー紹介



左側から

服部 尚師（専門委員・小牧担当）

中田明義兄（新会計）

田畑雅紀師（委員長）

中島若樹師（副委員長・JMS）

河野和雄兄（書記/広報）

* 編集後記 *

☆個人伝道トレーニング開催をいたします。ご希望の方は後日配布の申込書をお願い致します。

☆皆様のご意見ご感想をお待ちしております。

発行：日本メノナイトブレザレン教団 伝道委員会

〒563-0038 大阪府池田市荘園2丁目1-12 TEL:072-762-5731

発行者：田畑雅紀(伝道委員長)

編集者：河野和雄(広報担当)